

Webサイト（途上国森づくりワークス）では…
用語集レイアウト案：CDPレポート

関連分野	
・炭素、事業活動	
概要	
・イギリスの国際NGOであるCDPが世界の企業に対して二酸化炭素排出量や気候変動などに関する質問書を出して情報開示を推進しています。CDPはSBTイニシアティブを主宰する4団体の一つでもあります。RE100のテクニカルパートナーでもあります。	
・CDPレポートには気候変動・水セキュリティ・フォレストの3つがあり、それぞれについて8段階でスコアリングしています。	
リーダーシップレベル（A+、A）	環境課題の管理にベストプラクティスを行っている
マネジメントレベル（B+、B）	環境リスクやその影響に対するアクションをとり、環境リスクをなくそうとしている
応答レベル（C+、C）	事業で環境課題への影響を考慮し、環境問題に関する認識を深めている段階
情報開示レベル（D+、D）	質問書に回答しているが、まだ、スチュワードシップに向けた努力が未成熟
・2021年には環境省がCDPとの共催でサプライチェーン・アジア・サミット2021を開催するなど、日本政府との関係も深まっていくことが予想されています。	
植林との関係	
・気候変動レポートでは、気候変動目標に関する測定基準となるほか、金融商品に関してその対象となる活動が植林であった場合に「森林減少および/または水セキュリティの不安定性を緩和できるようにする」製品として報告することができます。	
・フォレストレポートでは、森林に関連する財務上及び非財務上のリスクへの対応として植林を報告することができます。	
植林を実施している企業の事例	
参考URL	
・CDP気候変動レポート2021：https://cdn.cdp.net/cdp-production/comfy/cms/files/14ea/000/005/319/original/2021_CD_Japan_report_JP_full_web.pdf	

Webサイト（途上国森づくりワークス）では…
主要な国際イニシアティブを整理

森づくり活動がバリューチェーンの中か外かで、「貢献度」を利用できる国際イニシアティブ異なる

主なイニシアティブ	森づくりの貢献度（候補）	森づくり活動の対象地	対象となり得る企業
SBT	植林地の吸収・排出量	自社バリューチェーン内	植林地を所有し林業を行っている企業（木材・製紙会社等）
CDP（森）	持続可能な森林経営、天然林保護	自社バリューチェーン内	林産物を取り扱っている企業
TCFD、TNFD	気候変動・生物多様性への対処・機会	財務に関すること一基本的には自社バリューチェーン内か？	林産物を取り扱っている企業＋植林関連の製品・技術を有する企業？
RE100	バイオマスエネルギー供給	自社バリューチェーン外OK？	オフセットや再エネ証明したい企業
30 by 30	生物多様性（保全地の創出）	自社バリューチェーン外OK？	生物多様性の保全が図られている土地（OECOM）を保有・管理できる企業
SD VSta（VERRA認証）	SDGsに関する17活動	自社バリューチェーン外OK？	SDGs活動を実施している企業

多くのイニシアティブは、… バリューチェーン内での活動による貢献度が評価対象
→ 一般企業は「森づくり貢献度」を可視化しても、イニシアティブ下では利用しづらい
→ これを明確にした上、一般企業が「森づくり貢献度」をどうESG投資やSDGs評価につなげるか提案

Webサイト（途上国森づくりワークス）では…
企業による途上国での植林事例紹介

- ねらい：
 - 企業による植林が「どういう体制・目的」で実施され、「どうPR」されているか、他企業に参考
- 掲載候補の企業は下表の通り（掲載承諾許可はこれからとる予定）
 - 植林活動が、バリューチェーンの内か外で、2グループに分ける

バリューチェーン内の植林活動	バリューチェーン外の植林活動
住友林業（複数国、木材用＋クレジットファンド）	ダイキン（インドネシア、国立公園内で植林）
日本製紙（複数国、紙パルプ用）	三井住友海上（インドネシア、保護区で植林）
越井木材工業（マレーシア、製材調達）	三菱商事（ケニア、ブラジル、インドネシア等で植林）
丸紅（インドネシア等、木材調達）	商船三井（インドネシア、マングローブ植林）
ヤマハ（タンザニア、楽器用）	イオン（日本、東南アジア、ケニア等で植林）
三井物産（ケニアの農家植林に投資、製材調達予定）	INPEX（インドネシア、泥炭地保全）

本事業を進めるうえでは、特に、・・・
「バリューチェーン外の植林地」において、その貢献度がどのように利用・PRされているか注視（上記企業にヒアリングをし、添付2のような情報をWeb上で公開）

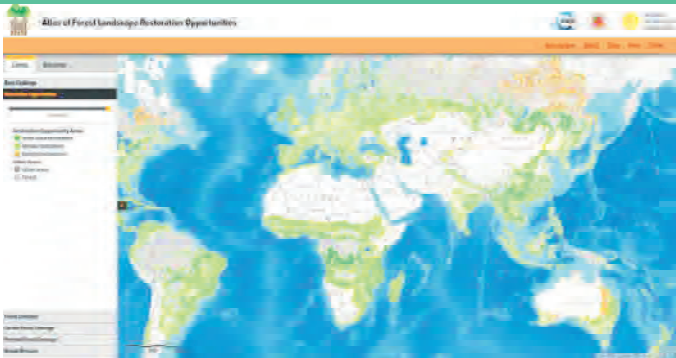
Webサイト（途上国森づくりワークス）では…
植林候補地の情報を整理

- ①世界の植林ポテンシャルエリア
 - 「Atlas of Forest landscape Restoration Opportunity（IUCNとWRI等）」を紹介・解説
 - 全世界を対象に、潜在的に森林になり得て、かつ現状森林でないエリアを地図で明示
 - https://www.wri.org/applications/maps/flr-atlas/#&init=y
- ②各国の植林関連基礎情報
 - 過去の報告書等の情報を基に整理
 - 途上国75か国が候補（右表の通り）
 - 以下の項目を整理
 - 法令、土地所有制度
 - 主な植林樹種
 - 気候、土壌
 - 植林候補地
 - 当該国で活動経験ある会社・NGO



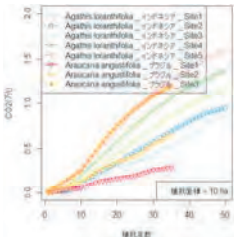
	アジア	アフリカ	中東
イエメン	アルメニア	ウガンダ	アルゼンチン
イラン・イスタム	ウズベキスタン	エチオピア	ウルグアイ
インド	カザフスタン	ガボン	エクアドル
インドネシア	キルギス	ガボン	グアテマラ
カメルーン	タジキスタン	カメルーン	コスタリカ
シリア・アラブ	トルクメニスタン	ケニア	コロンビア
ソロモン	モルドバ	ケニア	チリ
タイ	ルーマニア	コートジボワール	ドミニカ
中国	コンゴ	ニカラガ	ニカラガ
トルコ	ザンビア	バハマ	
ネパール	ジンバブエ	パラグアイ	
パプアニューギニア	セネガル	ブラジル	
パナマ	タンザニア	ベネズエラ	
ペルー	中央アフリカ	ペルー	
フィジー諸島	ナイジェリア	ボリビア	
フィリピン	ニジェール	ホンジュラス	
アータン	ルキナファン	メキシコ	
ブルネイ・ダルサラーム	ボツワナ		
ベトナム	マダガスカル		
マレーシア	マダガスカル		
ミャンマー	マダガスカル		
モンゴル	モザンビーク		
ヨルダン・ハシェミット	モロッコ		
ロシア	ルワンダ		

Atlas of Forest landscape Restoration Opportunity



Webサイト（途上国森づくりワークス）では…
植林CO2吸収量予測（見込み量計算）ツールを提供

- 背景
 - ほとんどの一般企業は、
 - 植林した木が何年でどのくらいCO2を吸収するかイメージできていない
 - 文献で調べたり、JIFPRO等の団体に聞くのは手間がかかる
- そこで…
 - Web上ですぐにCO2吸収量予測ができるツールを掲載
 - 「樹種」、「植栽面積」、「国」を自分でタブ選択すると、何年後にどれだけ吸収量が見込めるかグラフで出力（右図のイメージ）
 - 152樹種を掲載予定（熱帯途上国だけでなく、ヨーロッパ植栽樹種も含）
 - 元データは過去の文献や報告書に掲載の収穫表（既に整理済み）



・成長（CO2吸収）量は、植林地や植栽方法により大きく異なる
→あくまで概算（見込み）のためのツール
（植林によるCO2吸収がどのくらいの期間でどの程度のスケールなのか検討をつけてもらう）
・来年度に公開予定